

## 11月14日(木)開催プレスプレビューのご案内

下記オークションの一般公開に先立ち、11月14日(木)15:00より、報道関係者の皆様を対象に、プレスプレビューをご用意いたします。ご多忙とは存じますが、取材をご検討くだされば幸いです。

尚、取材ご希望の際には、お手数ですが別紙FAX返信用紙にて事前にご連絡ください。

「東京古典会」主催 国内最大の古典籍オークション

# 古典籍展観大入札会

11月15日(金)・16日(土)東京神田神保町で一般公開

今年も恒例の平成25年度・古典籍展観大入札会を、東京古書会館(千代田区神田小川町)にて開催いたします。

「東京古典会」は、東京古書組合(約700古書店加盟)に所属する、古典籍を扱う古書業者の集まりです。一昨年には創立百周年を迎えました。私どもは毎週火曜日に市場を運営しており、そこでは全国から持ち寄られた古典籍類が毎回何百点も取引されています。通常は組合に加盟する業者しか立ち入りできませんが、一般の方でも古書市場に参加できる年に一度の機会が、この「古典籍展観大入札会」です。

このオークションは1点10万円以上(額・幅・嵩物は30万円以上、屏風は100万円以上)ですので、特に優れた品々が集まり、今年も和漢の古典籍が1,700点ほどご覧いただけます。博物館ではケース越しに眺めることしかできない貴重な品々も、ここでは全て手にとってご覧いただけます。さらに、欲しい品には、入札(古書店がお客様の指値を入札)もできます。またと無い貴重な機会です。

## 【平成 25 年度 東京古典会 古典籍展観大入礼会】 注目出品物

### ○元版 松雪斎文集(げんぱん しょうせつさいぶんしゅう)

南宋末から元代にかけて活躍した趙孟頫(ちょうもうふ)の文集です。字を子昂(すごう)、松雪道人などと称しました。趙は宋の初代皇帝太祖の末裔。宋の滅亡後しばらく元のフビライ汗に召し出され、のち五代の皇帝に仕えます。詩・文・画ともに優れ、ことに書は王羲之に深く傾倒し、篆書、隸書、楷書、行書、草書の各書体で一世を風靡。文人の頂点を極め、明以降の書風にも強い影響を与えました。本書は彼の生きた同時代に刻された文集として貴重なのです。

### ○飛鴻堂印譜(ひこうどういんぷ)

印章を押して本の体裁にしたものを「印譜」といいますが、本書はその代表的な品。乾隆二十年(1755 年)に王啓淑が当時の印人の作品を集め、五集にまとめた豪華本です。後世の篆刻の興隆に多大の影響をあたえた印譜で、原本全五集がまとまって市場に出るのは珍。

### ○宣和集古印史(せんなししゅうこいんし)

北宋の文人皇帝徽宗(きそう)が宣和殿に蒐集した古印を四巻に編纂したもの。世界初の印譜として名高いのですが、原本は今に伝わらず、明代になって来行学がこれを模刻し万暦二十四年(1598 年)に刊行したのが本書。原本の面影をよく今に伝えています。

### ○豊臣秀吉朱印状(とよとみひでよししゅいんじょう)

豊臣秀吉の禁制(きんぜい)です。禁制は三つの条から成り、この文面にもあるように「一 みかた地 ちんとりをいて らんほうろうせきのともから 一銭きりたるへき事」とあり、もし一銭でも盗んだ者は首切りに処すという厳しい通達です。これは軍規を厳格に保つため、「一銭切」とよばれる秀吉の代表的な文書のひとつです。

### ○南方熊楠書簡巻(みなかたたくまぐすしよかんかん) 日野国明宛 大正二年 六通 一卷

明治末に発令された神社合祀令のために、その後しばらく全国で多くの神社が取り壊されました。三重や和歌山はことに甚だしく、熊楠はこれに猛反発。地元の新聞に論陣を張り、また多くの国会議員らに抗議の意見書を提出します。大正二年は熊楠の父祖の地である産土神、大山神社も合祀の対象となった年で、宛先は大阪の弁護士で衆院議員。

### ○三島由紀夫大幅「至誠」(みしまゆきおたいふく しせい) 紙本絹装 270×210cm 一幅

昭和 40 年、三島自らが製作・監督・主演・脚色・美術をつとめた映画「憂国」の背景として使われた書です。銀座鳩居堂で最大の和紙を求め、また表具は銀座の養清堂に委嘱。映画完成後に撮影者・渡辺公夫へ贈られ、今に至るまで非公開のまま所蔵されていました。同じく渡辺宛の三島の礼状と、撮影の謝礼が送られた現金封筒付き。

ちなみに添付してある『憂国-映画版-』(新潮社 昭41)収録の「制作意図及び経過」には、この書幅について詳細が記されています。

### ○富士参詣図(ふじさんけいず) 貞秀画 ほか富士山関係浮世絵多数

本年、世界遺産(文化遺産)の登録をされた富士山。日本では太古より富士山を信仰の対象として、山に登り参拝をしてきました。幕末には、経済の発展により余裕が生まれ、身近な名所に出かける行楽が盛んになり、そうした世相の背景に浮世絵の分野でも富士山が描かれるようになりました。富士山の表情の変化を描いたものや、富士登山の様子、富士講の風俗、富士山山頂付近の当時の様子を描いたものも多くあり、富士風俗を知る貴重な資料ともなっています。富士山を描いた作品がこれだけ集まるのは珍しいことです。

★ 上記以外にも古写本・古版本を始め、江戸時代の写本・版本、中国朝鮮本、錦絵、古地図、古文書、書画幅、など約 1,700 点の貴重書を展観。出品物が全て掲載されているカタログは 10 月下旬に完成いたします。東京古典会サイト(<http://www.koten-kai.jp>)にも同時期に全点掲載いたします。詳細は当方サイトをご覧ください。

## 《開催概要》

名称：平成25年度 東京古典会 古典籍展観大入札会

### ■ プレスレビュー開催

日時：2012年11月14日(木) 15:00～17:00 会場：東京古書会館

一般下見：11月15日(金) 10:00～18:00

11月16日(土) 10:00～16:30

※入札会(オークション)は17日(日)・18日(月)に実施します。一般非公開、古書業者のみ参加。

会場：東京古書会館(東京都千代田区神田小川町3-22 [TEL:03-3293-0161](tel:03-3293-0161))

出品物：古写本、古版本を始め、江戸時代の写本、版本、名家古筆、古文書、古地図、錦絵、絵巻物、かるた、書画幅や屏風、中国朝鮮本など、約1700点。

### ■ 【古典籍展観大入札会】入札システム

11月15日(金)16日(土)の開催される一般展観で、お客様に出品物を直接ご覧頂きます。購入を希望する書籍がある場合には、会場で古書業者に入札を依頼(1点10万円以上、但し額・幅・嵩物は30万以上、屏風は100万以上)できます。その後17・18日に行われる入札会(※一般の方は入場できません)で、依頼を受けた古書業者がお客様の希望価格で代理入札し、最高値をつけた方が落札できるというシステムです。初めて参加される方も、会場に控える古書の専門家が入札価格の相談に応じますので、安心して入札できます。

### ■ 「東京古典会」とは

「東京古典会」とは、東京古書組合(約700古書店加盟)のなかで、主に古典籍を扱う専門古書業者の集まりで現在27店舗が加盟しており、昨年創立百周年を迎えました。毎週火曜日には和本・古典籍を中心とした同業者間の市場を運営しており、そこには毎回全国から日本や中国の古典籍が何百点も集まり取引されています。

### ▼この件に関するお問い合わせ先(出品書籍画像の提供も承ります)▼

東京古書組合内 東京古典会 Tel:03-3293-0161 [kotenkai@kosho.ne.jp](mailto:kotenkai@kosho.ne.jp)

東京古典会 広報担当

中野書店 中野智之 nkosyo@aiores.ocn.ne.jp Tel:03-3261-3522 Fax:03-3234-2430

大屋書房 瀨瀬久里 ohya@ohya-shobo.com Tel:03-3291-0062 Fax:03-3295-2334

返信用 F A X 番号 : 03-3291-5353

プレスプレビュー申込書

昨年創立百周年を迎えた「東京古典会」が主催 国内最大古典籍オークション

【古典籍展観大入札会】プレスプレビュー

日時 : 2013年11月14日(木) 15:00~17:00  
会場 : 東京古書会館(東京都千代田区神田小川町3-22)  
TEL:03-3293-0161 FAX:03-3291-5353



展観される全出品物を自由にご覧いただけます。

<会場へのアクセス>

JR御茶ノ水駅・東京メトロ新御茶ノ水駅・東京メトロ神保町駅 各駅より徒歩5分  
※会場には駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。

ご出席 ・ ご欠席

貴媒体名			
貴社名			
部署名			
ご芳名			
TEL		FAX	
E-mail			
通信欄			

返信用 F A X 番号 : 03-3291-5353